

金武バイパスの一部区間開通（金武浜田原～金武渡慶頭原）^{きんはまだばる きんとけずばる} 事業概要

◆事業の目的

- ① 交通安全の確保
- ② 地域交流の促進
- ③ 幹線道路としての機能向上

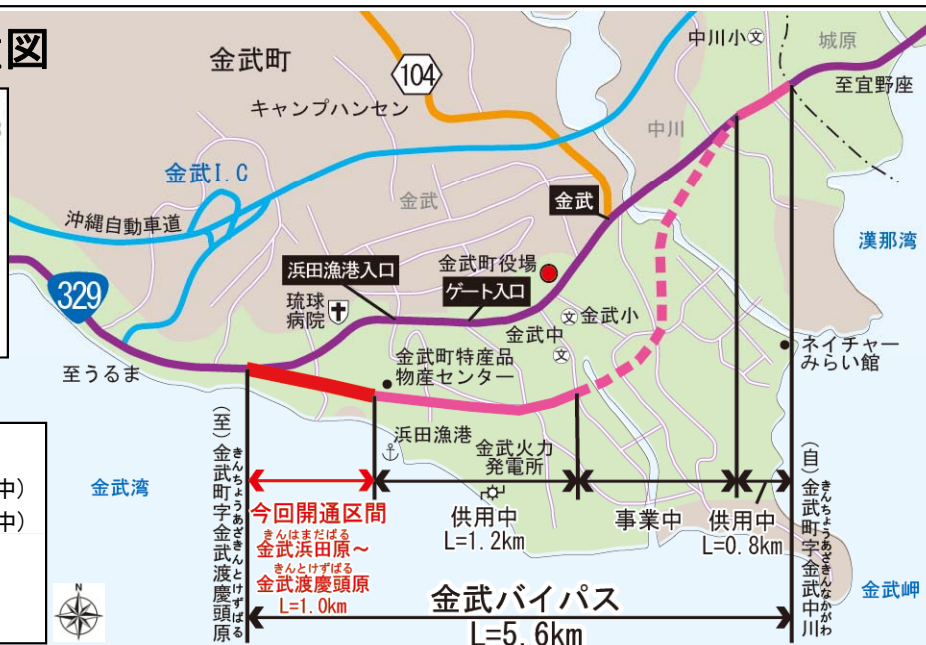


金武町字金武中川付近から金武湾方面を望む

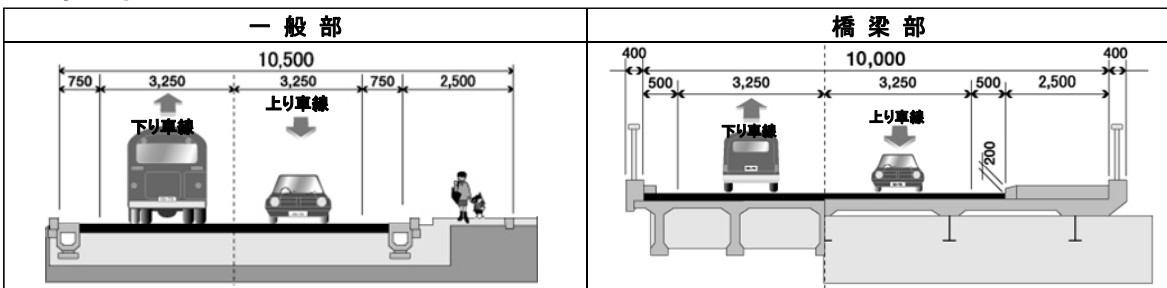
◆平面位置図



凡 例	
—	金武B.P (供用中)
---	金武B.P (事業中)
—	高速道路
—	国道
—	一般県道



◆標準断面図



◆事業の概要

事業名	一般国道329号 金武バイパス
事業延長	5.6 km
車線数	2車線

◆事業の経緯

平成3年度	事業化
平成6年度	用地着手
平成7年度	工事着手
平成8年度	きんはまだばる 金武中川地内 供用 (L=0.8km)
平成22年度	きんはまだばる 金武島兼原～金武浜田原 供用 (L=1.2km)
平成24年度	きんはまだばる 金武浜田原～金武渡慶頭原 供用 (L=1.0km)

◆開通状況写真



金武バイパス本線跨道橋から
金武中学校方面を望む



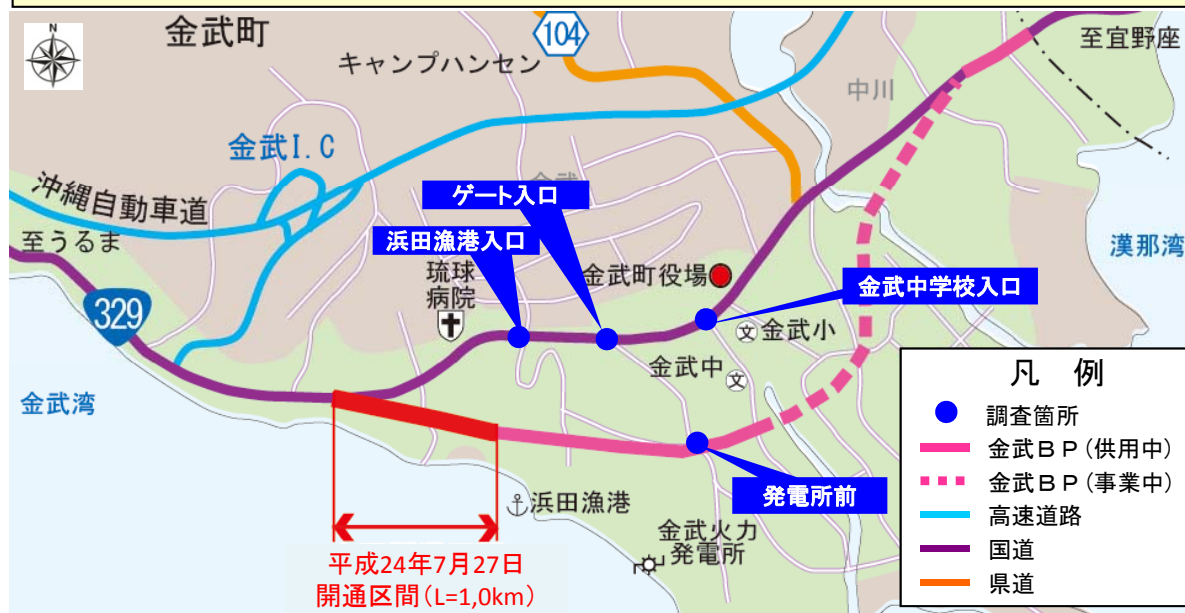
金武バイパス本線跨道橋から
浜田漁港方面を望む



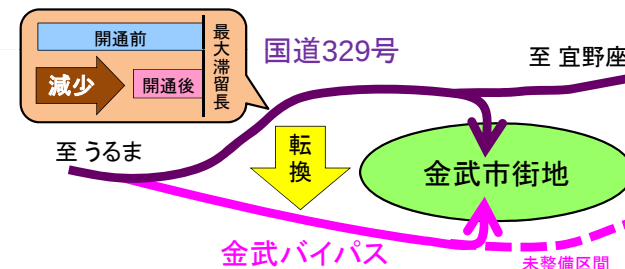
金武バイパス終点交差点付近
から浜田漁港方面を望む

金武バイパスの一部区間開通（金武浜田原～金武渡慶頭原） 整備効果

- 一部区間開通により、国道329号の交通量が転換し、金武バイパスの交通量が増加
 - ・金武バイパス（発電所前）の12時間交通量は2.4倍に増加 [896台⇒2,150台 1,254台増加]
- うるま市から金武火力発電所、金武中学校方面のアクセス性が改善され、町道の交通量が減少
 - ・市街地を通過する12時間交通量が21%減少 [3,256台⇒2,565台 691台減少]
- 国道329号の主要交差点の最大滞留長が減少し、混雑が一部緩和
 - ・主要な交差点（北向け）の朝ピーク時の最大滞留長が200m～30m減少



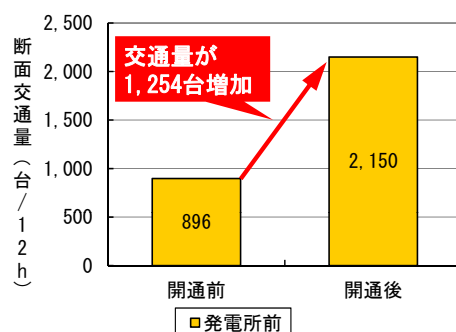
うるま市方面から金武市街地内へ向かう交通が現国道329号から金武BPへ転換し、現国道329号の渋滞・混雑が一部緩和



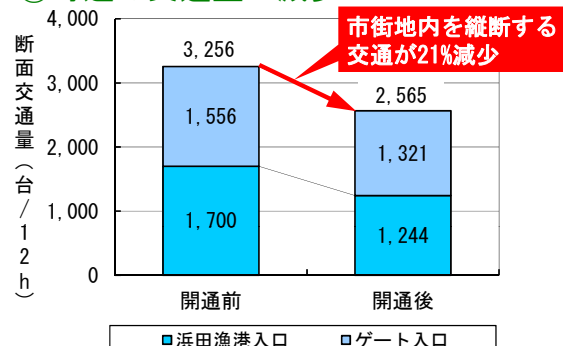
《道路利用者の声》

- 渋滞に巻き込まれなくなったので通勤時間が早くなった。
- 全線開通による渋滞の緩和に期待。

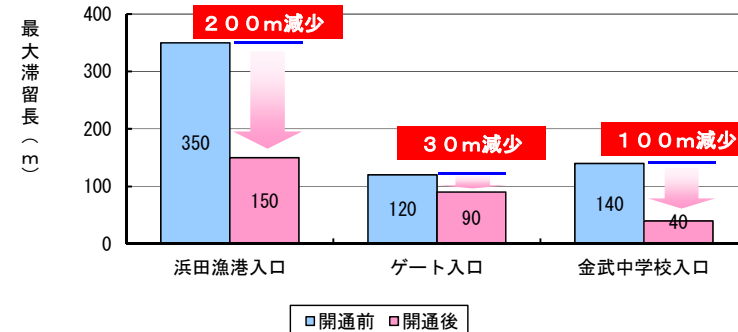
①金武バイパスの交通量が増加



②町道の交通量が減少



③最大滞留長が減少(朝ピーク:7時台) ※北向け(宜野座方面)



開通前:平成24年7月18日(水) 開通後:平成24年9月5日(水)